

2013年度『市民のための環境講座』

	日程	テーマ	内容紹介	講師	時間・会場
1	7/27 (土)	里海とは… 人と海のつながり	瀬戸内海は古来より人間生活とのつながりが緊密で、水産物を生む漁業生産力は国際的に見ても飛び抜けて高く、多島海の穏やかな景観も高く評価されてきました。瀬戸内海と世界の海を比較しながら、里海について「人と海のつながり」の観点から考えます。	広島大学名誉教授 松田治氏	10時～12時 オルガ 地下ホール
2	8/10 (土)	里海の生き物たち～海の幸の生態おもしろ話	地元で獲れる魚を地元で消費し、地域の食文化を活性化させることは、元気な里海づくりにつながります。普段の食卓を賑わす海の幸の知られざる生態、知っているようで知らない身近な里海のおもしろ話を紹介します。	独立行政法人 水産大学校 理事長 鷲尾圭司氏	10時～12時 オルガ 地下ホール
3	9/7 (土)	岡山県日生の歴史が育んだ里海像	地先の海をベースとした様々な活動を通じ、全国規模の沿岸環境関係者とのネットワークを築いてきた日生の漁師達。これまで長きに亘って自ら積極的に海に関わり、“人と海との共生”を果たしてきた彼らの史実を紐解きながら、その里海像を紹介します。	九州大学大学院 工学研究院 准教授 清野聡子氏	10時～12時 オルガ 地下ホール
4	10/12 (土)	市民のための里海創生論	里海を実現し維持するためには、生物多様性の源となる窒素やリンなどを、途切れることなく海域に循環させ、多くの生物が食物連鎖で繋がるようにする必要があります。都市部に暮らす人々が里海とどのように付き合えば良いのか一緒に考えましょう。	九州大学応用力学 研究所 教授 柳哲雄氏	10時～12時 日生町漁協 ※別途アコモ種別企画有
5	9/28 (土)	環境問題を捉える視点	環境問題の解決が難しいのは人により環境問題の捉え方が違っているためです。環境問題の本質を見据え、本当の豊かさとは何かということについて考えながら、環境問題の解決策について議論します。	吉備国際大学 国際環境経営学部長 井勝久喜氏	10時～12時 オルガ5階 スカーレット
6	10/26 (土)	原子力発電と放射能問題	原発事故を正しく理解するために、原子力発電の原理、事故の原因、放射性物質、放射能、放射線とは何か？ 人間に及ぼす影響について、分かりやすく解説します。	岡山大学名誉教授 青山勲氏	13時～15時 オルガ5階 スカーレット
7	11/30 (土)	岡山県下の水環境の現状を知る	水質汚濁防止法に基づき岡山県は水質をモニタリングし公開しています。そのデータから自分が住む地域の水環境の現状を知る方法を伝授します。	岡山理科大学 理学部教授 野上祐作氏	10時～12時 オルガ5階 スカーレット
8	12/14 (土)	生物多様性の意味について	絶滅危惧昆虫の保護活動や、アフリカ、南米、ロシアなどで観察した野生動物や昆虫と、人間との係わり合いなどから生物多様性の意味や意義を考えます。	岡山県立大学 名誉教授 伊藤國彦氏	13時～15時 オルガ5階 スカーレット
9	1/25 (土)	人間活動が地球に与える影響	人類社会が持続するためには、[人間活動量] < [生態系の能力] が根本条件です。人間活動量をエコロジカル・フットプリントといい、その指標の考え方を説明します。	元岡山大学准教授 白井浩子氏	10時～12時 オルガ5階 スカーレット

※1～4回の講座は、共催：NPO法人里海づくり研究会議、協力：生活協同組合おかやまコープとして開催します。

※本講座は「岡山県生涯学習大学連携講座」として開催します。

●会場：オルガ 岡山市北区奉還町1-7-7 ※10/12(土)のみ 会場：日生町漁協、申込：9/30(月)までお願いします。

●受講料：無料

●必ず事前にお申込みください。定数を超過し参加いただけない場合のみ連絡します。



公益財団法人おかやま環境ネットワーク

〒700-0026 岡山市北区奉還町1-7-7

TEL/FAX:086-256-2565

E-mail :kankyounet@okayama.coop

.....切り取り線.....

2013年度『市民のための環境講座』参加申込書

ふりがな 氏名											住所	〒																				
電話											FAX											E-mail										
申込日に○を	7/27	8/10	9/7	10/12	9/28	10/26	11/30	12/14	1/25																							

※お寄せいただく個人情報は利用目的以外の使用や第三者への開示などは一切行いません。